



御挨拶

令和6年4月1日

東京都立田園調布特別支援学校

校長 川崎 淳子

本校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

私は令和6年4月1日付、校長に着任いたしました川崎 淳子（かわさき じゅんこ）と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、平成18年4月に開校し、19年目を迎える知的障害特別支援学校高等部単独校です。開校以来、本校が目指してきた学校の姿は「生徒一人一人が社会参加と自立できる学校」です。

開校した平成18年当時に比べると、人工知能（AI）などの先端技術の飛躍的な発展に伴って、障害のある人たちの社会参加の在り方が大きく変わってきました。また、障害者の権利に関する国内法の整備などにより、社会の障害のある人たちへの意識や受け入れの状況も変化してきました。

様々に社会や生活が変化する中、本校が目指してきた学校の姿は不変ですし、これからも変わることはないでしょう。これからの社会を生きる生徒の可能性を広げ、地域や社会の中で自分の「居場所」を作り、自分らしく、また力強く生きていくことのできる力を育む学校であり続けたいと考えています。

生徒の社会参加や自立を豊かに実現するためには社会の変化が必要な面もありますが、同時に、生徒自身が自分でどのように生きたいのかを意識し、成長しようと努力することが必要です。そして、生徒がこのような姿を示せるようになるかどうかは、教育にかかっていると考えます。それは障害の程度や、必要とする支援の内容・量に関わらず、自分はこういう生活がしたい、そのために自分はこういう努力をするけれどもこのような支援が必要と、様々な方法で伝えることができる。そのような力を高めていくことが求められます。そのために、人権尊重の精神に基づいて教職員が一体となり、一人一人が主体的に学ぼうとする、根拠に基づいた教育を進めてまいります。

また、より教育の効果を高めていくためには、保護者の皆様や地域、関係機関の皆様の御理解と御協力が必要です。生徒の豊かな人生をどのように築いていけるのを考え、それぞれに協働していくことで、皆様との信頼関係も強くしていきたいと考えています。

これからも、本校の教育に御理解と御協力、そして御支援を賜りますようお願い申し上げます。

